

# 社会資本総合整備計画(第3回変更)

だれ誰もが<sup>あんぜん</sup>安全で<sup>あんしん</sup>安心し、<sup>すえなが</sup>末永く<sup>こころゆた</sup>心豊かに<sup>く</sup>暮らせる<sup>すなやま</sup>砂山・<sup>いまふく</sup>今福のまちづくり

平成30年12月

わかやま和歌山県 わかやま和歌山市

計画の名称	誰もが安全で安心し、未永く心豊かに暮らせる砂山・今福のまちづくり											
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	和歌山市											
計画の目標	<p>砂山・今福地区は、本市の中心市街地や工業ゾーンに近く、文教ゾーンが地区中央に形成され、利便性が高い住宅地である。しかし、近年は人口の減少や高齢化の進展が進みつつあり、また未利用地や空き地、空き家が増えつつある。</p> <p>さらに、幹線道路は未整備や未拡幅の区間が多く、地区南部の住宅地内では狭小幅員道路が多い状況でもある。</p> <p>このような中、幹線道路の整備推進や主要な区画道路（避難路として機能）・歩車共存道路の整備、防災拠点や公園・広場の確保により、安心安全で利便性が高い居住環境の形成を図ることが重要となっている。</p> <p>また、文教施設を中心とした交流場所や散策路などの整備、地域住民活動との連携による防災・防犯体制づくりや“まちいかし”・“まちそだて”活動により、次世代を育てるとともに魅力ある街なみ環境づくりを図ることが重要となっている。</p> <p>これらのことから、既成市街地の重点的な整備により、『災害に強く、誰もが安全で安心し、未永く心豊かに暮らせる砂山・今福のまち』（住環境の改善）を形成していくことを目指す。</p>											
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）	890	A	890	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C + D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	居住環境の満足度（満足、やや満足の合計）が22%（H26）から28%（H31）に増加 アンケート調査を計画対象地区(500世帯)に対して実施し、地区の居住環境の向上のために行う道路や公園整備の効果を、居住環境に関する満足度（満足、やや満足、普通、やや不満、不満の5指標の割合）で計測する	22%	25%	28%
2	住民主体のまちづくり活動（道路、公園等の植栽維持管理、緑化活動、空き家空き地の再生活用、避難訓練、避難路検証作業等）の回数が24回（H26）から48回（H31）に増加 NPO法人砂山パンマツリ及び砂山連合自治会、並びにNPO法人愛福会及び今福連合自治会が主催するまちづくり関連活動、企画の開催分を計測する。	24回	36回	48回
3	地区内移動環境の改善状況として、県立和歌山商業高校敷地内東西連絡道路の通過交通が496台/12h（H26）から50台/12h（H31）に減少 市道雄湊高松線から砂山南地区への連絡道路となっている県立高校敷地内道路の通過交通の台数（6:00～18:00の12h、四輪車・動力付き二輪車の二車種）を計測する。	496台/12h	台/12h	50台/12h

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業																												
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市区町村名/港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況									
												H27	H28	H29	H30	H31												
一体的に実施することにより期待される効果																												
備考																												
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	和歌山市	直接	和歌山市	-	-	都市再生整備計画事業(砂山・今福地区)	都市再生整備計画の基幹事業(道路整備、公園整備等)及び提案事業(都市計画道路等整備を活かしたまちづくり手法検討事業等)	和歌山市						890		-									
											小計																	
											合計																	

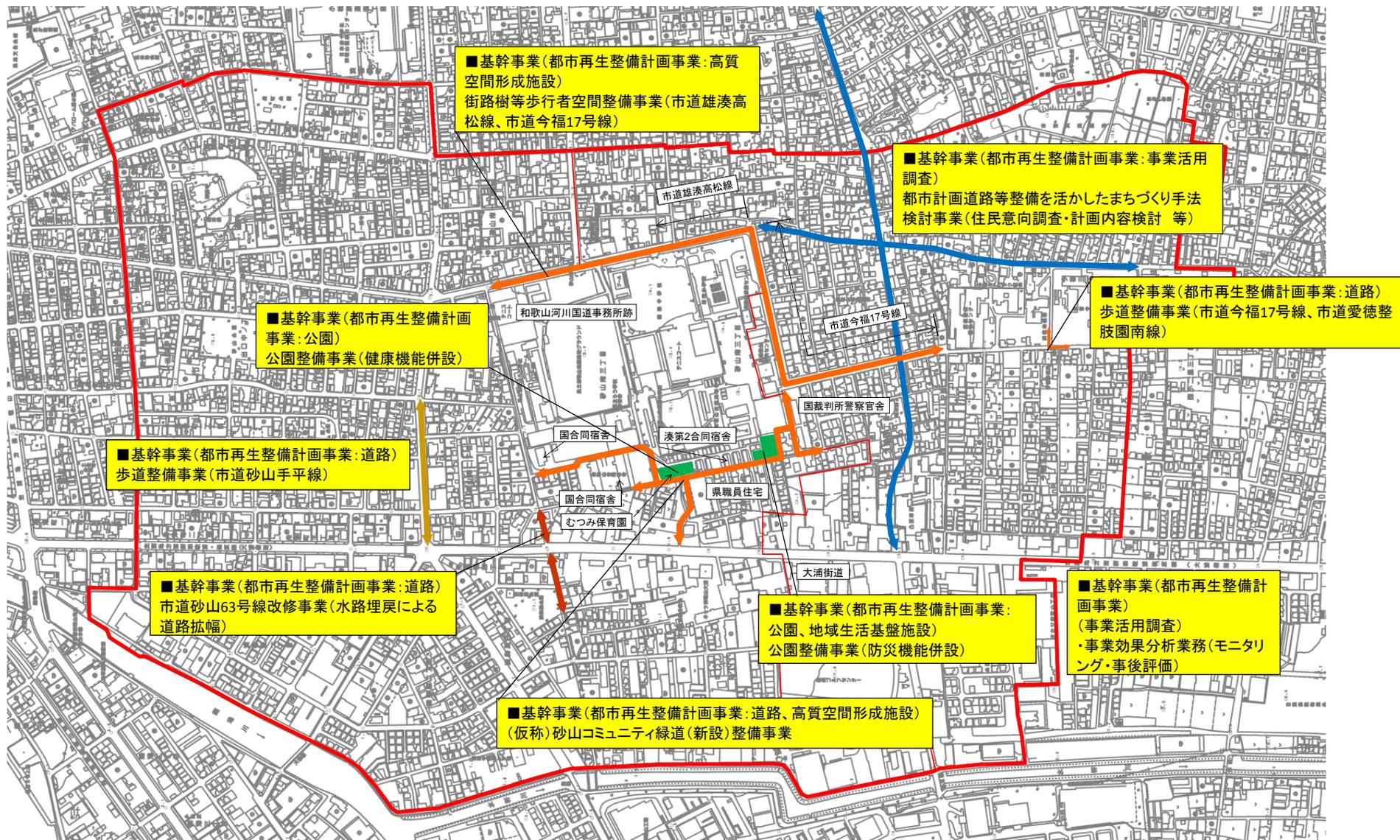
交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H27	H28	H29		
配分額 (a)	10	140	118		
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	10	140	118		
前年度からの繰越額 (d)	0	8	68		
支払済額 (e)	2	80	141		
翌年度繰越額 (f)	8	68	45		
うち未契約繰越額(g)	0	0	0		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

(参考図面)

計画の名称	誰もが安全で安心し、末永く心豊かに暮らせる砂山・今福のまちづくり		
計画の期間	平成27年度～平成31年度 (5年間)	交付対象	わかやけんわかやまし 和歌山県和歌山市



# 都市再生整備計画(第3回変更)

すなやま いまふくち く  
砂山・今福地区

わかやま わかやま  
和歌山県 和歌山市

平成30年12月

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	和歌山県	市町村名	わかやまし 和歌山市	地区名	すなやま いまふちく 砂山・今福地区	面積	158.3 ha
-------	------	------	---------------	-----	-----------------------	----	----------

計画期間	平成 27 年度 ~ 平成 31 年度	交付期間	平成 27 年度 ~ 平成 31 年度
------	---------------------	------	---------------------

<b>目標</b>	
大目標:誰もが安全で安心し、末永く心豊かに暮らせる魅力ある居住環境の創出と、住民主体のまちづくり活動の確立	
目標1	災害に強い、安心安全で利便性が高い居住環境づくり
目標2	まちに愛着を持つ人々と次世代を育てる、ふれあいの交流環境づくり
目標3	住民主体の積極的な活動展開による、緑や自然と共生した美しい魅力ある街なみ環境づくり

<b>目標設定の根拠</b>	
<p>まちづくりの経緯及び現況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・和歌山市は、紀伊半島の北西部に位置し、北は和泉山脈、西は紀淡海峡に面し、紀の川の河口に位置する和歌山県の県都である。明治22年に市制が施行されて以来、近畿南部の中核都市として発展し、現在は人口364,610人(平成26年4月1日)、面積210.31km<sup>2</sup>を擁している。</li> <li>・砂山・今福地区は、JR和歌山駅から南西に約3km、南海和歌山駅から南方へ約2kmにあり、本市の中心市街地や臨海側の工業ゾーンに近く、日本赤十字社和歌山医療センターが北東に近接して立地し、利便性が高い住宅地になっている。</li> <li>・本地区の中央部は、日清戦争中に歩兵第61連隊が編成されて昭和20年終戦まで駐屯が続き、この広大な跡地に昭和22年～26年にかけて市立砂山小学校、市立西和中学校、県立和歌山商業高等学校、県立和歌山ろう学校が移転、開校して文教ゾーンが形成されているほか、一部が国有地、県有地として利用されている。このうち、国有地の一部は現在、未利用地となっている。</li> <li>・住宅地が、この文教ゾーンを取り囲んで昭和30年代から形成され、平成22年(国勢調査)時点の人口密度(グロス)は砂山地区で約30人/ha、今福地区で約93人/haとなった。</li> <li>・しかし、人口は昭和50年代から減少に転じ、空き地や空き家が増加し、65歳以上の高齢者比率は砂山地区が27%、今福地区が32%に上昇してきている。</li> <li>・地区の幹線道路となる都市計画道路は地区外周に4路線を計画しているが南部を東西方向に計画する路線と東部を南伸する区間が事業未着手で、他の2路線も拡幅整備事業が未着手で歩道等の確保が不十分である。生活道路は一部の区域を除いて幅員4m未満の狭小幅員の道路網が形成されている。また、下水道は汚水はおおむね整備済みであるが、雨水は順次、整備を進めている状況である。都市公園は本地区南部には設置していない。</li> <li>・本地区については、平成23・24年度に「砂山・今福地区まちづくりワークショップ」が7回開催され、延べ300余名の地域住民の参画を得た中でまちづくり整備構想が提案され、地域住民のまちづくりへの期待が高まっている。</li> <li>・平成25年度には、「まちづくり支援事業」として住民まちづくり推進団体(NPO法人等)が主体となったワークショップや勉強会等も開催し、より一層まちづくりへの関心や活動意欲が高まっている。</li> </ul>	

<b>課題</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本地区南部を中心として幹線道路が未整備であることから、交通の利便性の向上や災害時の避難道路の確保が必要になっている。また、既存の幹線道路においては歩道幅員等が不十分であることから、拡幅整備により安全な歩道、通学路の確保が必要である。</li> <li>・生活道路の多くは狭小幅員であることから、消防車や救急車の円滑な進入ができる道路幅員の確保とともに、地区西側から避難施設に連絡する東西方向の避難道路が必要になっている。</li> <li>・また、住宅等の空き地での建設や建替えは前面道路が狭小な幅員で接道条件を満たさない敷地があり、周辺住民が道路拡幅を要望することと相まって、狭小幅員道路の拡幅整備が大きな課題となっている。</li> <li>・南海・東南海地震などの災害に備えて、防災の拠点づくりや防災組織づくりが必要になっている。</li> <li>・人口の減少、高齢者の増加に伴い、良好な居住環境や子育て環境を整えるとともに若者が集まっている文教ゾーンの特性を活用し、次世代を育てるふれあいのまちづくりを進め、若者や子育て世帯などの定住促進が求められている。</li> <li>・神社の祭り、川沿いの並木、街通り沿いの花木などを活かし、美しく魅力あるまちづくりを進め、快適で潤いのある居住環境の形成が求められている。</li> </ul>	

<b>将来ビジョン(中長期)</b>	
<p>■第4次和歌山市長期総合計画 平成20年度～平成29年度</p> <p>○「安心して、安全に暮らせるまち」:総合防災対策の充実、消防・救急救助体制の充実、地域安全の推進などにより、市民が安心して暮らせるまちづくりを進めていきます。</p> <p>○「市民と地域がつくる元気なまち」:地域住民自らが、自発的なまちづくり意識を持ち、お互いに支えあいながら安心して生活できる地域コミュニティを構築するため、自治会等の地域で活動している団体を支援するとともに連携、協働を進めていきます(道路、公園等の植栽管理、緑化活動等の住民主体のまちづくり活動の推進)。</p> <p>○「自然環境と都市基盤が調和した快適なまち」:地域住民の利便性を確保するため、安全で快適な基幹道路や生活道路の整備を行うとともに、人に優しいまちづくりを進めていきます。</p> <p>■和歌山市都市計画マスタープラン 基準年:平成22年-目標年:平成32年 &lt;地域別構想-中心部地域&gt;</p> <p>○「充実した交通の利便性を活かしたまちづくり」・市の中心部への通過交通を排除する内環状道路・外環状道路の整備を進め、交通混雑を解消し、都市としての利便性と活力を高めます。・歩行者・自転車に優しいまちづくりに向けて快適な歩行者空間の形成を進めます。</p> <p>○「高度な都市機能を活かしたまちなか居住の環境づくり」・高度な都市機能の集積、土地の高度利用とあわせ、まちなか居住を推進することにより、定住人口の増加を促し、よりにぎわいのある中心市街地の形成をめざします。</p> <p>■砂山・今福地区まちづくり提言書(平成24年9月、砂山・今福地区まちづくりワークショップ-同作成)</p> <p>○「災害に強いまちづくり」 ○「安心・安全のまちづくり」 ○「次世代を育てるふれあいのまちづくり」 ○「美しい、魅力あるまちづくり」の4つを砂山・今福地区のまちづくり目標に定めます。</p> <p>まちづくり提言の内容を自らの課題として受け止め、みんな考えて、行動することにより、私たち住民の手でまちを創り上げていきます。(道路、公園等を地域が主体となって維持管理し、より一層魅力的な施設へと充実させるとともに、各種活動への積極的な活用を通じて、地域住民のまちづくりへの意識醸成と新しい次世代の担い手育成に努めます。)</p>	

<b>目標を定量化する指標</b>							
指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
・居住環境の満足度	%	アンケート調査を計画対象地区(500世帯)に対して実施し、地区の居住環境の向上のために行う道路や公園整備の効果、居住環境に関する満足度(満足、やや満足、普通、やや不満、不満の5指標の割合)で計測する。	地区の骨格となる道路整備や低未利用地における公園等の憩いの空間の整備は、安全で安心して暮らす上で重要であり、また、地区住民のとても悲願でもあることから、居住環境に対する満足度の向上、魅力度の向上に繋げる。	22%	26	28%	31
・住民主体のまちづくり活動(植栽維持管理、緑化活動、空き家空き地の再生活用、避難訓練、避難路検証作業等)の開催回数	回	NPO法人砂山バンマツリ及び砂山連合自治会、並びにNPO法人愛福会及び今福連合自治会が主催するまちづくり関連活動、企画の開催分を計測する。	地域が主体となって種々の活動を継続的に展開することにより、地域住民の中から、次代のまちづくりの担い手を育成するとともに、まちづくり組織(新しいコミュニティ)の形成と持続的なまちの環境維持に繋げる。	24回	26	48回	31
・地区内移動環境の改善状況(県立和歌山商業高校内東西連絡道路の通過交通の削減、排除)	台/12h	市道雄湊高松線から砂山南地区への連絡道路となっている県立高校敷地内道路の通過交通の台数(6:00～18:00の12h、四輪車・動力付き二輪車の二車種)を計測する。	教育施設の外周を周回する新たな道路(歩車共存道路)を整備することなどにより、通過交通を可能な限り排除し、安全で安心な通学路の確保と地域内の生活者の利便性向上を両立させる。	496台/12h	26	50台/12h	31

## 都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1: (安全性、利便性を高める道路体系とともに防災対策・体制を充実する。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全で安心して暮らせる住環境の創出に寄与する幹線道路の整備を促進する。</li> <li>・幹線的な生活道路(避難道路)を、都市計画道路新和歌浦中之島紀三井寺線(大浦街道)から避難施設に連絡する経路に整備し、地区西側から避難路を確保して防災安全性の向上とともに地域内交通を円滑に処理する。</li> <li>・幹線道路の歩道整備、歩行者ネットワークの形成に資する歩道、緑道の整備により、歩行者(通学路)等の安全性を高めるとともに、魅力ある快適性の高い道路空間及び賑わいのある交流広場空間を確保する。</li> <li>・各種整備を契機とした住民主体のまちづくり活動(避難地・避難路等の確保と継続点検、避難訓練等)を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市道砂山63号線改築事業(水路埋戻による道路拡幅)(基幹事業:道路)</li> <li>・(仮称)砂山コミュニティ緑道整備(新設)(基幹事業:高質空間形成施設)</li> <li>・街路樹等歩行者空間整備(市道雄湊高松線、市道今福17号線、通称はなみずき通り、歩道等交流空間整備と植栽工)(基幹事業:高質空間形成施設)</li> <li>・公園整備事業(防災機能併設、新設)(基幹事業:公園)</li> <li>・歩道整備事業(基幹事業:道路)</li> <li>・歩道整備事業(基幹事業:道路)</li> <li>・都市計画道路等整備を活かしたまちづくり手法検討(提案事業:事業活用調査)</li> </ul>
<p>整備方針2: (住民主体のまちづくり活動の展開によるまちづくりの担い手育成と住民相互の理解、新しいコミュニティ形成を進める。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民との協働によるまちづくりワークショップ及び勉強会等を開催しながら道路空間、広場公園等の整備内容を官民協働で検討し、地域住民が快適で愛着をもてる環境の形成を図る。</li> <li>・住民との協働により緑地や緑道等を整備することを契機に、地域の新しいまちづくり体制を構築する。</li> <li>・各種都市基盤の整備及び種々のまちづくり活動の推進を契機として、まちづくり機運を醸成し、新しい担い手、次世代の育成を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・街路樹等歩行者空間整備(市道雄湊高松線、市道今福17号線、通称はなみずき通り、歩道等交流空間整備と植栽工)(基幹事業:高質空間形成施設)【再掲】</li> <li>・(仮称)砂山コミュニティ緑道(新設)整備(基幹事業:高質空間形成施設)【再掲】</li> <li>・公園整備事業(健康機能併設、新設)(基幹事業:公園)</li> <li>・公園整備事業(防災機能併設、新設)(基幹事業:公園)【再掲】</li> <li>・事業効果分析業務(提案事業:事業活用調査)</li> <li>・都市計画道路等整備を活かしたまちづくり手法検討(提案事業:事業活用調査)【再掲】</li> </ul>
<p>整備方針3: (住民との協働による潤いのあるまちの環境整備、緑化活動を促進する。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育施設の周辺に広場公園や緑道(散策路)を整備し、緑のネットワークを形成するとともに、住民相互、学生と住民がふれあうことができるような場と仕組みづくりを推進する。</li> <li>・地区住民の参画により、植栽管理や緑と花のまちづくり等を展開する。</li> <li>・種々のまちづくり活動を通じて、将来にわたって持続的に活動できるまちづくりNPOの仕組みづくり(公共施設等の指定管理への参画等)と担い手育成を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・街路樹等歩行者空間整備(市道雄湊高松線、市道今福17号線、通称はなみずき通り、歩道等交流空間整備と植栽工)(基幹事業:高質空間形成施設)【再掲】</li> <li>・(仮称)砂山コミュニティ緑道整備(新設)(基幹事業:高質空間形成施設)【再掲】</li> <li>・公園整備事業(健康機能併設、新設)(基幹事業:公園)【再掲】</li> <li>・公園整備事業(防災機能併設、新設)(基幹事業:公園)【再掲】</li> </ul>
<p>その他</p> <p>当該地区では平成25年5月に、住民主体のまちづくり活動を広く展開していくために、今福地区で「特定非営利活動法人愛福会」、砂山地区で「特定非営利活動法人砂山/パンマツリ」が組成され、種々の活動が始められている。今後は、本計画の基幹事業ならびに提案事業の推進を通じて、より一層の住民主体のまちづくり活動の展開、一般住民のまちづくり機運の醸成等に繋げていくとともに、魅力ある生活空間の創出、子育て世代にとって住みやすいまちの形成を図っていく。併せて、まちづくりNPOの持続的で自立した活動基盤を確立するための仕組みづくりや体制づくりも積極的に進めていく。</p>	



# 砂山・今福地区(和歌山県和歌山市) 整備方針概要図

目標	目標1:災害に強い、安心安全で利便性が高い居住環境づくり	居住環境の満足度向上	%	22% (H26年度) → 28% (H31年度)
	目標2:まちに愛着を持つ人々と次世代を育てる、ふれあいの交流環境づくり	住民主体のまちづくり活動の回数増加	回	24回 (H26年度) → 48回 (H31年度)
	目標3:住民主体の積極的な活動展開による、緑や自然と共生した美しい魅力ある街なみ環境づくり	地区内移動環境の改善状況(通過交通台数削減)	台/12h	496台/12h (H26年度) → 50台/12h (H31年度)

